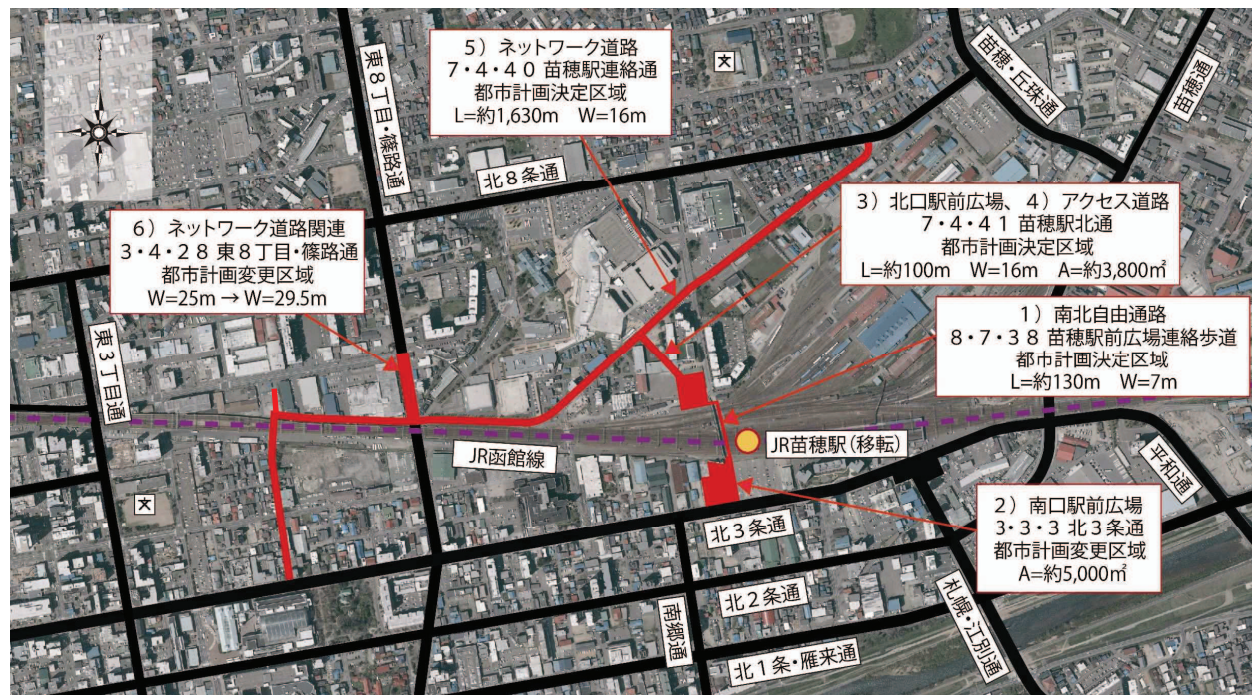


1 位置図



2 整備の目的

苗穂駅周辺地区は、札幌駅から東に1～2.5km圏域と都心に近接した位置にあり、地区及び周辺にはサッポロファクトリー、アリオ札幌といった集客力の高い商業施設や産業施設、北海道の拠点的医療施設である厚生病院などが立地しております。

しかし、JR線やJR苗穂工場によって市街地が分断されている、東9丁目に開かずの踏切が存在、狭小道路・整備水準の低い道路が存在する、駐輪スペースが不足している、駅北口に改札口がなく北側からのアクセスが不便となっている等の課題を持ち合わせております。

これらの課題を解消すべく、平成17年度に「苗穂駅周辺地区まちづくり計画」が策定され、この基本計画をもとにまちづくり関連事業において、苗穂駅を300m札幌駅側へ移転橋上化し、街路事業において南北自由通路、北口及び南口駅前広場、駅前広場に連絡するアクセス道路、地域と地域を結ぶネットワーク道路の整備を実施いたします。

3 道路計画の概要

1) 南北自由通路【8・7・38 苗穂駅前広場連絡歩道】

延長約130m、幅員7m（有効幅員6m）

2) 南口駅前広場【3・3・3 北3条通】

面積約5,000㎡

3) 苗穂駅北口駅前広場【7・4・41 苗穂駅北通】

面積約 3,800 m²

4) アクセス道路【7・4・41 苗穂駅北通】

延長約 100m、幅員 16m (車道 9.0m、歩道 3.5m×2)

5) ネットワーク道路【7・4・40 苗穂駅連絡通】

延長約 1,630m、幅員 16m (車道 9.0m、歩道 3.5m×2)

6) ネットワーク道路関連【3・4・28 東 8 丁目・篠路通】

東 8 丁目アンダーパスのうち、線路北側の延長約 120m、幅員 29.5m (アンダーパス車道 14.5m、側道車道 5.0m×2、歩道 2.5m×2)

4 整備スケジュール

平成 24 年度	:	調査測量、予備設計
平成 25 年度	:	事業認可取得、確定測量
平成 26 年度～	:	実施設計、用地買収
平成 30 年度	:	連絡歩道完了 新駅開業
平成 31 年度	:	駅前広場、道路工事完了

5 現在の状況

予備設計（基本的な設計）を平成 24 年に実施しており、施設の配置などの整理をしています。

今後は詳細な設計や用地買収を行い、工事を実施していきます。

6 確認事項

福祉のまちづくり条例などを順守し、詳細な設計を進めていきます。

- ・エレベーターの仕様
- ・エスカレーター仕様
- ・手すり、誘導ブロックの設置
- ・階段の仕様

上記以外にも検討すべき点などがあれば確認したいと思います。